

福祉だより

ぬくもり



第129号
2023年8月27日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協●発行日/偶数月●編集/北六甲台地区社協広報部●配布エリア/北六甲台・上山口

北六甲台地区社協のホームページができました。
上記の二次元バーコードをスマホでスキャンして頂き、ご覧下さい。

六月二十五日サンパレス六甲において地区社協役員、協力員、登録ボランティアの皆さんを対象に会費制で「交流研修会」を開催しました。十年ほど前にそれまで行っていたバスを仕立てての管外研修を取りやめて以来の実施です。皆さんが親しく活動するために交流ということはやはり必要

十年ぶりの交流研修会



交流研修会

地区社協、気楽に参加できる受け皿

ことではないかという声で交流研修会として復活の運びとなりました。

プレゼンと意見交換



まず、日高会長より映像を利用してのプレゼンテーション

ンがあり、現在の地区社協の活動、これからの地区社協の活動の方向性が財政規模なども含めてわかり易く説明されました。その後の意見交換では「他の地区社協との交流を行うことでより良い活動ができるのではないか」「高齢者社会になり高齢者が対応しにくいところをサポートする活動を」「横のつながりが希薄になっているので社協の活動に期待するものがある」「育成センターで対応できない子供たちの居場所づくりを」といった意見・提案がありました。

地区社協ではこのようなご意見に添えていくためボランティアセンター

研修の後は、お吸い物、デザート付き、二重重ねミニ重箱のお弁当を楽しみました。丸テーブルでのおしゃべりも弾みます。これまで全くつながりのなかった人どうしがこれですっかり親しくなる様子を目の当たりにすると、やはりこのような交流の機会を持つことの大切さを感じます。

希望者のカラオケ懇親会

交流研修会のあとの第二部は希望者だけの懇親会が持たれました。こちらは数年ぶりのカラオケで日ごろのイメージを裏切る選曲もあり盛り上がりしました。

人のつながりの大切さ

最近、認知症防止の有



力な手立てとしてボランティア活動に参加することが言われていますが、このように人とのつながりを持つということがいかに大切なことであるのか再認識させられます。そして、ボランティアというものは構えてするような大層なものではなく、楽しく、のびやかな活動があつてこそ、いろいろなアイディアも生まれコミュニケーションの新しい結びつきも生まれてくることでしょう。地区社協はボランティア活動が楽しくどなたでも気軽に参加できるものであるようにその受け皿としても存在しています。(会長代行 本郷)

生人十色

さわかみ関西独立リーグのプロ野球チーム

独立リーグ球団代表 川崎大介さん



本拠地三田の神姫バスキッピースタジアムを中心とした活動

関西独立リーグは現在の五球団(来年一球団増える予定)あり、年間四試合の総当たりのリーグ戦をしている。兵庫県内での主催試合は二四試合。年一回、西宮市内での開催試合もある。今シーズンは既に半分ほど終えて、直近の目標は十月のNPBのドラフト会議での指名獲得!

「この活動は無くすのは簡単だが、一から作るのは大変なこと。チームの存続に全力を尽くしたい。」と川崎代表。

九月三日(日)、九月十五日(金)はキッピースタジアムへお越し頂き、選手への応援をよろしくお願いいたします!

※プレイヤー(Break)とは「勇敢な、勇ましい」の意味。(広報部 去川)



オヤジ会有志のプロ野球観戦記

地域交流の新たな機会

令和五年のスポーツ界は、三月のプロ野球WB C杯で待ジャパンが世界一に輝いたニュースから始まった。八十九年前に



私がプロ野球・関西独立リーグ球団「兵庫プレイヤーズ」を知ったのは、つい最近である。

ちよい呑みオヤジ会のメンバーに川崎球団代表が加入されてからである。早速、オヤジ会の野球好きの仲間に応援団が作られ、七月二日に三田市のキッピースタジアムに駆けつけた。対戦相手は大阪の堺シユライクスというチームだった。真夏の炎天下、試合は先取点を取られたが二本の本塁打で逆転、そのまま逃げ切って四対二で勝利するという願ってもない展開だった。観戦者は両軍合わせて百名足らずだったが、手拍子や鳴り物入りの賑やかな観戦風景だった。応援チームの勝利もあって暑さも吹き飛ばす楽しい一日を過ごした。



今話題の選手はアフリカのウガンダからやってきた十六歳の力トー投手である。また北六甲台五丁目在住の支配下選手である十七歳の木村琉桜君にも期待したい。



野球観戦という新たな交流

様々なグループや個人がプレイヤーズを応援しているが、今回我々もその輪に加わった。

オヤジ会は地域の居場所づくりの拠点でもあるが、今回は野球観戦という場での愛好者たちとの新たな交流が生まれたことを嬉しく思った。それは地域交流の新たな機会をもたらしたと思えた。(役員&オヤジ会 竹田)

地区社協のホームページ公開

ネット社会の発信力に期待

自前のHP作成

六月十三日に地区社協のホームページ（HP）が公開されました。一月の執行委員会での今期の事業計画にHP公開を盛り込むか否かを検討して以来五ヶ月をかけての公開です。執行委員会では「今HPは必要か」「公開に要する費用に見合う効果はあるか」「多くのアクセスがある魅力的なホームページは可能か」等の議論がありました。

広報部会で検討を重ね、次のようなまとめを執行委員会に報告しました。「立上げ時のHPでアクセス重視の魅力的な内容作成は無理がある。地区社協の活動やイベント案内や組織の紹介等の簡潔なHPが妥当」「内容（コンテンツ）作成は、コストをかけて煩雑なやりとりが必要な業者委託を避け、素人でも公開可能なHP作成ソフトを活用

用して公開するのがベター」「上記の自前のHP公開であれば初期費用不要で年間維持費も一万円以内で済む」。以上の報告を前提にHP公開の取組みが承認されました。

公開に向けた取組み



HP公開に向けて準備を進めました。事業者（プロバイダー）と公開に必要なHP情報の保管契約を行いました。また最小限の公開内容の作成が必要です。これについては交流研修会で使用した「地区社協紹介」

のデータを取り込んで作成しました。作成した公開内容を事業者のサーバー（データ保管場所）に送信して無事に公開出来ました。

公開後の経過

七月初旬からはグーグルやヤフーの検索で「北六甲台地区社協ぬくもり」のキーワードで検索できるようになりました。

七月中旬には市社協HPの地区社協紹介頁の北六甲台地区社協欄にHPにジャンプできる「見出し」ができました。地区社協HPに動画が掲載できるようになりました。地域活動紹介の頁の「ここに丸山カフェ」の紹介欄にカフェ風景の動画を掲載しています。ちなみに公開後のアクセス件数は八月六現在の累計で約一万四千件で、一日平均二六〇件です。

広報紙とHPの連携

地区社協のHP公開によって今後の広報活動の在り方が進化します。今後は広報紙という紙媒体とHPというデジタルのネット媒体の二つの発信が可能になります。それぞれの特性を活かした連携と分担が必要です。広報紙のタイトルや記事にHPの二次元バーコードを掲載することで効果的な連携が可能になります。忙しい現役世代に広報紙を読んでもらえるのは難しくても、スマホやタブレットにHPを「お気に入り登録」してもらうことでその可能性は高くなります。広報紙の現役世代向けの記事をHPに編集して公開することでより身近な情報になることも期待もできます。高齢者も含めスマホやタブレットの普及が著しい環境の下で、HP公開は地区社協の強力な発信力になることが期待できます。（会長 日高）



敬老お祝訪問の予告

内容

対象者宅を訪問しお祝い品をお届けします。

対象者

七十五歳以上で訪問を希望される方

訪問期間

九月十五日～九月二十日の間



赤十字募金報告

ご協力ありがとうございました。

募金額 65,805円

赤十字活動資金 53,500円

子育てひろばのトライヤルウィーク

山中の生徒三人の掛け合い紙芝居



ですが、とても上手で感心しました。中学生のお兄さんお姉さんに遊んでもらって子ども達もママ達も本当に楽しそつでした。（子育て支援部 鈴木）

（子育て支援部 鈴木）



「五月の子育てひろば」「ともだちつくり」にトライやる・ウィークで山口中学の二年生三名がやって来ました。月一回の広場なので下見してもらうことも出来ず、ぶっつけ本番の当日、受入れる側もドキドキでしたが、生徒さんも緊張したことでしよう。ところが、三人とも準備から受付、子ども達との自由遊びまでテキパキと楽しそうに動いてくれました。何より驚いたのは最後の紙芝居。十五分の練習の後、三人で役を決め、掛け合いながら子ども達に紙芝居をしてくれたの

公民館地域学習推進員からの案内

公民館講座をご存じですか？



公民館では、市民の多様な学習ニーズや人権や福祉などの課題に対応した『主催講座』のほか、地域から選ばれた推進員で構成する公民館地域学習推進員会が企画運営する『推進員会講座』など様々な講座が開催されています。

今期から私も北六甲台自治会から派遣され、推進員を担当しています。

秋の講座紹介

山口公民館（阪急バス山口センター前）では各月一～二回、地区住民を対象にした講座を開いています。無料で参加できます。ここでは九月から十一月の秋の公民館講座を紹介いたします。

今から始める！

後悔しない生前整理講座



九月二十六日十三時から

十四時三十分

生きることを前提にしたお片付けのお話しです。もう終わりたいという方もおられるでしょうが、片付けはなかなか完全にはいきません。大いに参考になるかと思えます。



ずーっと元気

健康寿命をのばす食事！

十月一日十三時三十分

から十五時

日々の食事で気をつけることなど、役に立つ情報満載です。中高年対象ですが、どなたにも役立ちます。



消しゴムはんこで

年賀状づくり

十一月十二日十三時

三十分から十五時

少し早いですが、ゴム板を使つてはんこを作り、それを押して年賀状を作成します。五百円の費用は必要ですが、あとは先生にご用意いただきます。

詳しくは「山口公民館だより」をご覧ください。公民館に問い合わせてください。いずれも申し込み予約が必要ですが、予約開始は大体講座の行われる一ヶ月前です。（広報部 薦原）